

日間下流は四箇月間結氷するを例とせり。

水勢は急疾、材木を流下し得る外、復た運輸に便ならず。唯寧遠城（固爾札）より惠遠城に至るまでは、稍、緩漫なるも、淺瀬沙渚多く、加之危崑舟を支へ、航運自由ならざるが、唯高水の際は、一年内僅に二個月餘下航は容易なれど、急流なるが故に溯航すべからずとす。予の伊犁に到着せしは、明治四十年五月中旬にして、恰も最良航行の時期たりしも、滔々たる江上、更に一扁舟の上下するを目撃せず。願望多時、李白が『唯見長江天際流』の嘆を發せり。

要するに、伊犁河は露領に入りて後、水運の利、次第に大と爲るも、新疆省内に在りては其利全く缺如せり。然れども其の支流と共に伊犁谷地を灌漑するの利は、實に莫大なるものにして、到る處部落相望み、田園相連り、樹木繁茂、牧草豐饒、實に伊犁をして新疆第一の沃土たらしめたり。

伊犁河の全般を詳にせんと欲せば、其の三源流を知らざるべからず。以下少しく説く所あらん。

崆克斯河は伊犁河上流の名にして、其の源を那喇特山に發し昌曼特克斯の二河

崆克斯河